

シフトポジションインジケータ
SHIFT POSITION INDICATOR [SPI-M02]
12v Monkey / Gorilla (Z50J / AB27)

ノーマルギア比での
シフトポジションデータ登録済み

取扱説明書

セット内容

- SPI-110mini本体 ●専用ハーネス ●PG-110センサー (3Pカプラー仕様)
- チェック用LED ●PG-110センサー用アルミステー(ノーマルスイングアーム用)
- M6 ナット x1 ●M6 平ワッシャー x3 ●バーハンドルステー(SPI-BS01) x1
- SPI本体用両面テープ(厚、薄)各1枚 ●マグネット(1.5mm厚)x3個
- ドーナツ型テープx3個 ●タイラップ(長290mm x2本、短142mm x5本)

注意事項

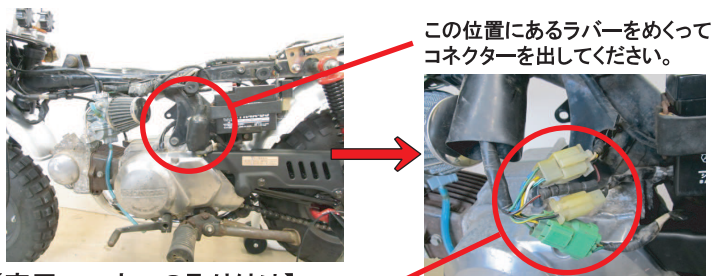
- 本説明書は12v モンキー(Z50J)に対応する内容で記載しております。車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- SPI本体の裏面にはスイッチがあります。付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

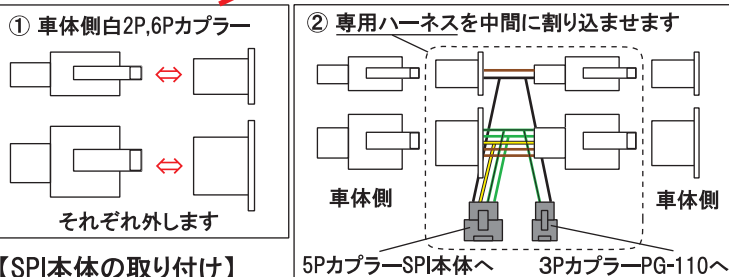
【取り付け作業の準備】

作業しやすい様に、シート、ガソリタンク、左サイドカバーを取り外します。
※作業の際は必ずキーOFF、火気厳禁で行ってください。



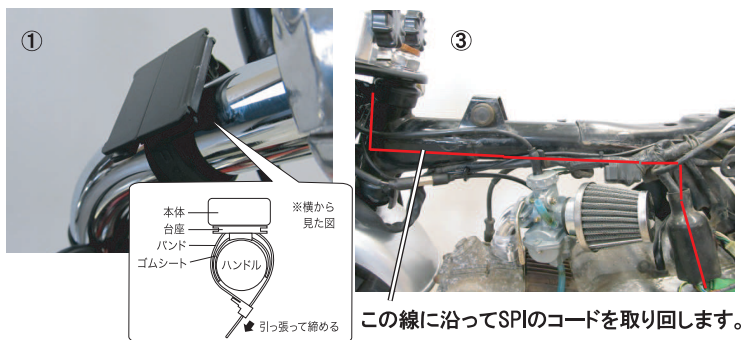
【専用ハーネスの取り付け】

- ①左クランクケース上のゴムブーツ内にある白い2P、6Pカプラーを外します。
- ②専用ハーネスの白2P、6Pカプラーを車体側ハーネスカプラーへ接続します。



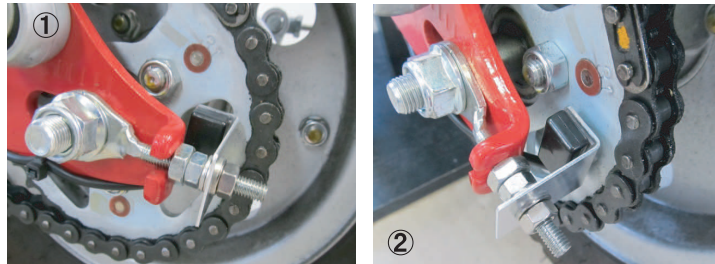
【SPI本体の取り付け】

- ①ハンドルバーにハンドルステーを取り付けます。
- ②SPI本体を両面テープで貼り付けます。
※後でシフトアップインジケータの設定を行いますので仮付けにしてください。
- ③SPI本体のコードをフレームに沿って専用ハーネスまで取り回します。
※SPIのコードは、ハンドルを左右に切った時、コードが引っ張られないようにハンドルバーやフレームなどにタイラップで固定してください
- ④専用ハーネスとSPIの5Pカプラーを接続します

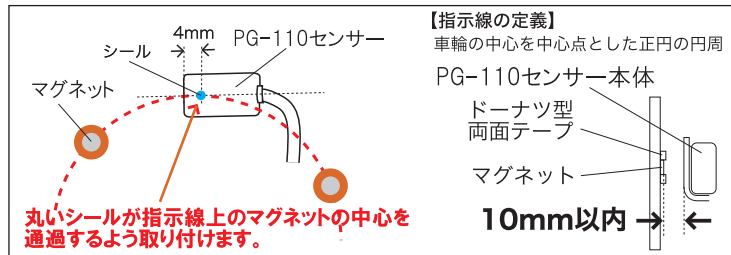


【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

- ①左下の画像を参考に付属品のPG-110センサー用アルミステーをスイングアーム左側のチェーンアジャスターへM6ナットで取り付けます。
- ②PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
PG-110センサーとマグネットとの隙間は10mm以内の範囲で調整してください。



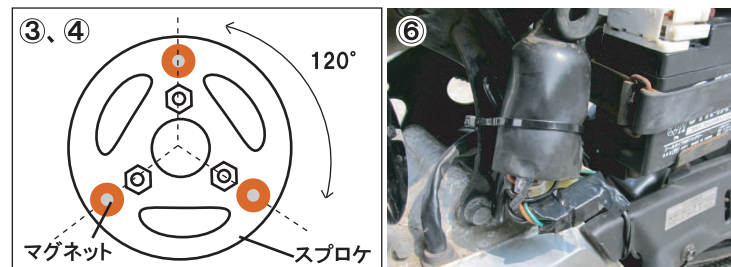
※付属のM6平ワッシャーはセンサーとマグネットの位置調整用にご使用ください。



上記枠内の注意点を参考にリアスプロケットにマグネットを3箇所貼り付けます。

- ③ドーナツ型のガイドテープを120° 間隔で貼ります。
 - ④マグネットを市販の金属用ボンドを使って貼り付けます。
- ※マグネットは必ずホイール中心部に対し120° になるように等間隔に配置します。スプロケ取り付けボルトを目安にすると均等に貼り付けできます。

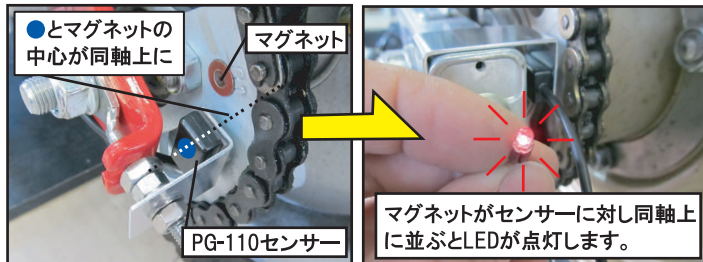
コニシ製G17ボンド推奨



- ⑤PG-110のコードはスイングアームに沿ってチェーンが当たらないように取り回しタイラップを使って、左側クランクケース上の専用ハーネスまで通します。
※コードに無理なストレスが加わらないように取り直しには注意してください。
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。ゴムブーツにコネクターやコードを収納します。入りきらない物はビニールテープなどで防水処理をしてください。

【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】 詳細裏面参照

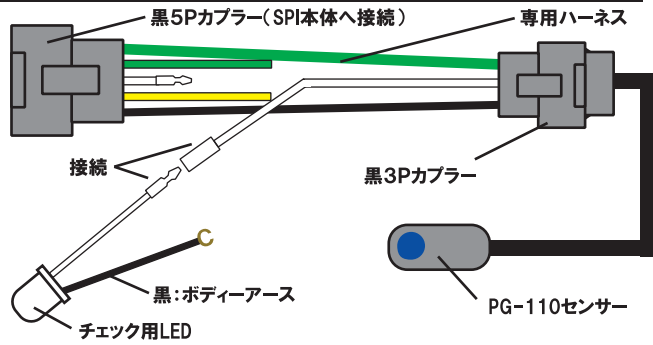
- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線をメインハーネスの黒3Pカプラーの白線へ接続します。
- ②チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)をボディアースに接続します。
- ③キーONにし、ホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消灯する事をすべてのマグネットにおいて確認してください。3箇所のマグネット全て点灯していれば正常です。



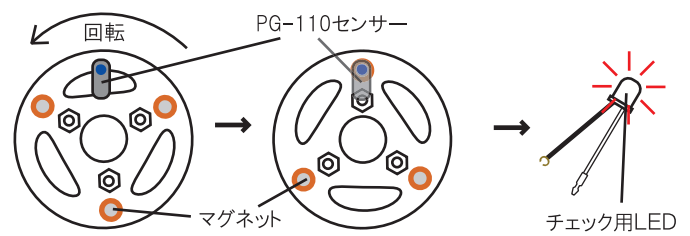
※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。
※チェック終了後はLEDを外し、白線のギボシ端子を接続してください。
※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、多目的にご利用頂けます。

- 各ギアポジションの登録及びシフトアップインジケータ登録、及びエラー表示の詳細は裏面にて解説しております。
- 登録終了後、シート、ガソリタンク、左サイドカバーなど外した部品の取り付けして完了となります。

PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



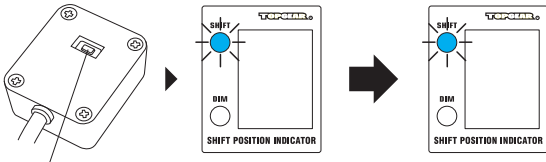
チェック用LEDの確認方法



ギアをニュートラルに入れ、キーON、リアホイールをゆっくりと回転させ、PG-110センサーの青丸シール部分とマグネットを同軸上に合わせるとチェック用のLEDが点灯します。
 ※12vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

シフトアップインジケータの設定

実際の走行時において、設定値より回転が上ると青色LEDが点灯します。



ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、青色LEDが点滅するまで本体裏のボタンを長押しします。

設定したい回転数まで上げて戻すと青色LEDが高速点滅し、セット完了です。
 ※設定の変更は何回でも可能です。

ギアポジションの設定

社外5速ミッションまで登録可能

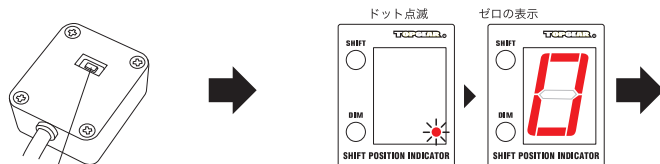
本製品はノーマルミッション及びノーマルスプロケ(F=13T / R=31T)並びに、本説明書の指示通りのマグネットの配置や個数で取り付けられた場合に対するギアポジションの設定済みですので基本的にギアポジションの設定は不要ですが、登録済みのプログラムでギアポジションが正しく表示されない場合以下の方法でギアポジションの設定(登録)を行ってください。
 ※ホイール径やスプロケットを変更している場合は設定を行ってください。

※ギアポジションの設定は実走行にて行います。

安定したエンジン回転数で走行し設定登録を行ってください。

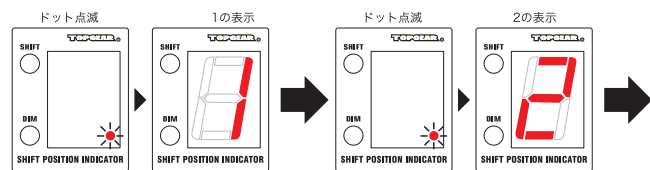
※走行の際は周囲の道路状況に注意して行ってください。

※「ドット点滅」から「数字の表示」に切り替わるのに若干時間がかかります。



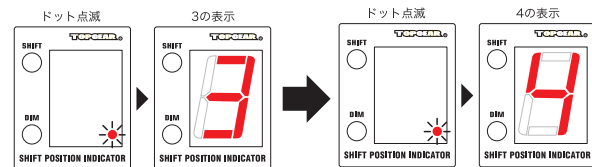
ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、本体裏のボタンを3回押します。

「ドット点滅」→「ゼロの表示(ニュートラル)」になったらギアを1速に入れます。



「ドット点滅」→「1の表示(1速)」になったらギアを2速に入れます。

「ドット点滅」→「2の表示(2速)」になったらギアを3速に入れます。



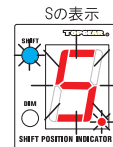
「ドット点滅」→「3の表示(3速)」になったらギアを4速に入れます。

「ドット点滅」→「4の表示(4速)」になったらギアを3速に入れます。

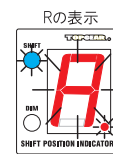
※モンキー、ゴリラは4速車ですので、「4」の表示が出たら3速にシフトダウンして「ドット点滅」→「3」の表示が出たら登録完了です。

【万一、以下の表示が出たら】

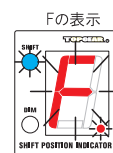
SPI本体やPG-110センサーと専用ハーネスが接続されているカプラーのピン抜けが考えられますのでご確認ください。



Sの表示
 スピード信号が取れていない場合、S表示点滅+ドット点滅が表示されます。SPI及びPG-110の白線とメインハーネスの白線の接続を確認してください。また、メインハーネスの白線のギボシが外れていないか確認してください



Rの表示
 エンジン回転信号が取れていない場合、R表示点滅+ドット点滅が表示されます。SPIと専用ハーネスの黄色線が正しく接続されていません。



Fの表示
 スピード信号とエンジン回転信号の両方が取れていない場合、F表示点滅+ドット点滅が表示されます。上記の「S」、「R」表示の問題点を確認してください。

実走行によるギアポジションの設定方法の注意点

- ※ ギアポジション設定にはスピード信号と回転信号の両方がSPI本体に入力される必要があります。
- ※ スピード(速度)信号のセンサーがあるホイールが回転しない状態では設定できません。(本製品の場合リアホイール側に速度を検知するセンサーを装着しております)

- ・ 設定は必ず実走行にて行ってください。
- ・ 走行の際は、周囲の道路状況を確認して安全に十分留意して行ってください。
- ・ 各ギア共に安定したエンジン回転数で走行し登録してください。
 エンジンのノッキングなどギクシャクした走行状況下では正しい登録ができません。
- ・ 以後の設定操作は、【ギアポジションの設定】をご覧くださいまして設定を行ってください。

◆実走行以外での設定時の注意点◆

- レーシングスタンド(メンテナンススタンド)を使用して、リアタイヤを回転させて設定することができます。
 ※必ずリアホイールを回転(空転)させてください。
- ・ 以後の設定操作は、【ギアポジションの設定】をご覧くださいまして設定を行ってください。